

### 大会規定説明会 内容

関東、九州にて開催した本年度の大会規定説明会内容です。今後の登録やルールに関する補足説明になりますのでエントリーチームは該当箇所のご確認をお願い致します。

#### ◆エントリーや登録に関して

##### ①補欠登録

補欠はあくまで選手が怪我などのやむおえない事情があった場合の交代として 2 名までの登録が可能です。

予選で登録した演技人数（補欠以外）は、決勝で人数を増やして演技を行うことは出来ません。

（例：予選を選手 10 名補欠 2 名の計 12 名で登録⇒決勝を選手 12 名補欠 0 名で登録（は不可）

また決勝の選手登録はあくまで予選で演技を行った選手（もしくは補欠選手）を前提とします。

演技人数が減少する際は決勝大会選手登録時もしくは大会当日選手受付にて申請ください。この場合の減点は全部門において 5 名未満になった場合のみ一人あたり -2 点です。

##### ②重複エントリーシート

部門を重複して出場する選手がいるチームのみ本年度から「重複エントリーシート」の提出が必要です。

「重複エントリーシート」は 7 月のエントリー後にチーム登録する際に提出頂きます。

同団体でも選手が全く被らない 2 チーム以上をエントリーする際は提出不要です。

（例：1 年生が Pom 部門、2 年生が Jazz 部門に出場する高校生チームなど選手が重複しない場合は提出不要。但し 2 年生の Jazz 部門に 1 年生が 1 人でも重複して出場する場合は提出が必要。）

また重複選手に関しては、大会進行上演技から次の演技までに十分な時間が取れない可能性がありますので着替えの段取りや会場の動線の確認などをチームで事前に把握をお願い致します。

#### ◆音源に関して

大会当日選手受付時のチームによる音源確認は、一曲を通してではなく、曲の頭と終わりの確認のみです。

音響係はチームの演技内容を理解し、万が一音響に不備があった際に対応出来る方をお願い致します。

#### ◆予選通過に関して

例年通り、全エントリー終了後部門毎に本年度の通過枠を協会 HP にて発表します。

決勝への予選通過基準点は Mini 編成、Youth 編成、中学生編成は 70 点以上。高校生編成、大学生編成、一般編成に関しては 75 点以上とします。

各予選、通過基準点に達したチームの中から若干数審査員推薦があります。その為事前に発表した通過枠が決勝にて前後する場合がありますのでご了承ください。

◆競技規定、演技規定に関して

①Line Dance 規定の変更（該当部門：Pom 部門高校生以下の編成及び Cheer Dance 部門）

ルールの 2 行目

「規定の 4 本のハイキックは自由だがパッセやレッグホールド、フロア正面に対して後向きまたは後方で行うキックは不可」

規定の 4 本のハイキックはフロントキックやサイドキック、ファンキックなどを差します。

メンバーが同じタイミングであれば同じ種類のキックで左右の脚が異なるキックも 1 本とカウントされます。

Line Dance 自体にパッセやレッグホールドを入れてはいけないという事では無く、あくまで規定の 4 本にはカウントされない。

また、規定カウント数、キック数は必ず選手同士がラインを組んだ（つながった状態）で行って下さい。

（減点例：8 カウント、ラインを組みその内キック 2 本実施⇒選手が一旦離れる⇒再びラインを組み 8 カウント繋がりその内キック 2 本実施。

※カウント数、キック数共に減点になるのでお気を付け下さい。）

Line Dance での減点が無いよう、カウントやキックの本数は規定数より多く入れることをお勧めします。

②タンブリングに関して（該当部門：Pom 部門高校生編成以下及び Cheer Dance 部門）

側転など本年度から有効となったタンブリングはあくまで個人 1 人で行うものを対象とし、なおかつ単発でのみ実施可能とする。

パートナーリングなど 2 名以上で行うものや、実施選手を補助選手が持ち上げた状態で頭を下に回転する動きは減点対象なので気を付けること。

◆NDA 大会に関して

2017 年 NDA 大会（All Star、高校、大学全て）の使用音源に関するルールが変更になります。NDA からの公式発表がされ次第、HP 上でご案内致します。この件についての現状は、事務局 寺村（NDA 担当）までお問い合わせください。

以上